

## 2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【数学】 【数学Ⅰ】	1年	4単位	教科書	最新 数学Ⅰ (数研出版)	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室 等	総合コース (必修) ・各HR教室			
教科・ 科目 の 目標	(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度					
	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評価」とする。											
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等			予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト			「節」ごとに実施なので計9回実施予定			60%		60%			
	確認テスト			ほぼ毎回実施します。前回の復習や中学校範囲がメインです。			20%		20%			
	夏・冬休みの課題			演習課題を課し、休み明けの最初の授業で試験を行います。			20%		20%			
	家庭学習			スタディーサプリを活用し、復習をしてください。							80%	
	授業態度			授業態度が良ければ加点します。							20%	
	〔観点別配分〕			(3観点の比重を%で示しています)								
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名		配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)			
							知・技		思・判・表		態度	
4 5	中学校の内容の確認 第1章 数と式	24	第1節 数と式 多項式、展開、因数分解 第2節 実数 実数、根号「ルート」	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
6 7	第1章 数と式 第3章 2次関数	24	第1章 数と式 第3節 1次不等式 不等式、連立不等式 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフ	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
8 9	第3章 2次関数	25	第1節 2次関数とグラフ 平行移動、平方完成、2次関数の決定など 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次不等式	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
10 11	第4章 図形と計量	27	第1節 三角比 三角比、三角比の相互関係、三角比の拡張など 第2節 正弦定理・余弦定理 正弦定理、余弦定理、三角形の面積	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
12 1	第5章 データの分析	20	データの代表値、分散、相関、仮設検定など	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
2 3	第2章 集合と命題 章末問題 (総復習) 課題学習	20	集合、部分集合、共通部分、和集合、補集合 命題と集合、命題と証明、背理法など 数学Ⅰの総復習 数学Ⅰで学んだことを活かし、課題解決能力を育む	単元テスト 確認テスト 家庭学習 授業態度			◎ ○  		◎ ○  		◎ ○  ◎ ○	
学習の アドバイス	・数学Ⅰの基礎基本の定着を徹底します。 ⇒基礎基本の定着(知識・技能)なくしては、応用問題や入試問題(思考力・判断力・表現力)に対応できない。ゆえに、教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・進学者希望者はスタディーサプリの積極的な取り組みや平日講習である「大学への数学Ⅰ」に積極的に参加し、実践演習を積みこむことを強く勧めます。 ・各クラス、同じ内容の単元テストにて実施し、「A」、「B」、「C」の評価、評定を算出します。単元テストの良し悪しで決まりますので、1つ1つの単元テストに本気で臨んでください。 ・数学は積み重ねの教科です。 <b>家庭学習の習慣が必須となります。</b> 授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。											